



平成24年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成23年11月11日

上場会社名 日本製麻株式会社

上場取引所

東証二部

コード番号 3306

URL <http://www.nihonseima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 広太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 池田 明穂 TEL (078) 332-8251

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日 ~ 平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期 第2四半期	2,549	△12.5	21	△88.0	8	△94.9	△144	—
23年3月期 第2四半期	2,912	0.7	181	138.0	165	—	61	349.3

(注) 包括利益24年3月期 第2四半期 △195百万円 (—%) 23年3月期 第2四半期 87百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期 第2四半期	△3.95	—
23年3月期 第2四半期	1.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期 第2四半期	4,826	1,763	25.4
23年3月期	4,848	1,959	29.0

(参考) 自己資本 24年3月期 第2四半期 1,227百万円 23年3月期 1,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	5,212	△7.0	106	△65.5	69	△73.8	△77	—	△2.10	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 ()、除外 一社 ()
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	36,733,201株	23年3月期	36,733,201株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	53,487株	23年3月期	52,625株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	36,680,170株	23年3月期2Q	36,681,399株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の業績予想につきましては、前回(平成23年5月12日)発表予想を修正しております。詳細につきましては平成23年11月10日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業的前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による急激な落込みからサプライチェーンの復旧が早期に進んだことで景気回復に向け明るい兆しも出てきましたが、円高や海外経済の減速などリスク要因もあり、厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループの各事業においては環境変化に対応しながら事業基盤の強化に取り組んでまいりました。マット事業では東日本大震災による影響を受け減収となり、水産事業では台風12号の水害による損失が発生しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,549百万円と前年同四半期と比べ363百万円(12.5%)の減収、営業利益は21百万円と前年同四半期と比べ159百万円(88.0%)の減益、経常利益は8百万円と前年同四半期と比べ156百万円(94.9%)の減益、四半期純損失は144百万円(前年同四半期は61百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(産業資材事業)

産業用包装資材は、米用コンテナバックの拡販と米麦用麻袋および紙袋の東北地方への出荷の確保に努めました。その結果、売上高は520百万円と前年同四半期と比べ4百万円(0.9%)の減収となり、米麦用麻袋、麻一般製品の輸入品価格高騰分の販売価格改定および物流の効率化等により、セグメント利益は12百万円と前年同四半期と比べ12百万円(前年同四半期は0百万円のセグメント利益)の増益となりました。

(マット事業)

自動車用フローマットの需要は回復傾向にあるものの、自動車メーカーにおいて東日本大震災後、電力供給の制約などで生産および販売台数が減少、この影響を受け国内向けの受注は大幅に減少しました。また、アジア向けの受注も本格的な回復までにはいたりませんでした。その結果、売上高は826百万円と前年同四半期と比べ383百万円(31.7%)の減収、セグメント利益は30百万円と前年同四半期と比べ126百万円(80.6%)の減益となりました。

(食品事業)

パスタおよびレトルトソースは、震災後の需要の変化に対応しながら供給に努めてまいりました。その結果、売上高は1,060百万円と前年同四半期と比べ36百万円(3.6%)の増収となりましたが、円高による輸入品との価格競争において市場での厳しい下げ圧力とパスタ原料の小麦粉価格の高騰により、セグメント損失は22百万円(前年同四半期は44百万円のセグメント利益)となりました。

(水産事業)

鮎の生産管理を改善し、ほぼ計画通りの出荷尾数で推移していましたが、台風12号による生産設備の被災で子持鮎の全滅により9月初めまでの出荷となりました。その結果、売上高は106百万円と前年同四半期と比べ10百万円(9.3%)の減収、セグメント利益は1百万円(前年同四半期は7百万円のセグメント損失)となりました。なお、この被災により災害による損失として33百万円、有形固定資産の減損損失91百万円をそれぞれ特別損失に計上しております。

(不動産開発事業)

ホテル跡地の第一次解体工事が終了し、順次土地の賃貸を開始しておりますが、なお開発段階であり、売上高は19百万円と前年同四半期と比べ1百万円(5.9%)の増収、セグメント利益は0百万円(前年同四半期は10百万円のセグメント損失)となりました。

(その他事業)

ゴルフ関連工事の受注の減少により、売上高は16百万円と前年同四半期と比べ1百万円(7.0%)の減収、セグメント損失は1百万円(前年同四半期は2百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,826百万円、前連結会計年度末と比較して21百万円の減少となりました。これは、投資その他の資産で114百万円の増加となったものの、台風12号の被災に伴い、水産事業(浦安養魚場)において有形固定資産の減損処理91百万円並びに災害による損失として有形固定資産減失損12百万円及びたな卸資産の減失損16百万円を計上したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は3,062百万円、前連結会計年度末と比較して173百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債では支払手形及び買掛金の増加97百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加58百万円、固定負債では長期借入金の増加92百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,763百万円、前連結会計年度末と比較して195百万円の減少となりました。この結果、自己資本比率は25.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ35百万円減少し、313百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比べ227百万円減少し、88百万円の支出となりました。これは、主として税金等調整前四半期純損失の計上、売上債権の増加に伴う資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比べ53百万円減少し、145百万円の支出となりました。これは、主として投資有価証券の取得による支出の増加であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比べ258百万円増加し、201百万円の収入となりました。これは、主として長期借入金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成23年11月10日の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	350,046	314,107
受取手形及び売掛金	819,474	855,621
商品及び製品	295,834	394,299
仕掛品	156,981	111,076
原材料及び貯蔵品	364,953	326,071
繰延税金資産	97,421	66,724
その他	30,724	31,114
貸倒引当金	△1,223	△1,623
流動資産合計	2,114,214	2,097,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	443,699	360,779
土地	1,513,568	1,475,369
その他(純額)	206,428	205,852
有形固定資産合計	2,163,696	2,042,001
無形固定資産	11,594	10,759
投資その他の資産		
その他	676,021	790,484
貸倒引当金	△116,991	△113,933
投資その他の資産合計	559,029	676,550
固定資産合計	2,734,320	2,729,311
資産合計	4,848,534	4,826,704
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	707,963	805,897
短期借入金	12,000	66,000
1年内返済予定の長期借入金	262,152	320,865
未払法人税等	40,244	7,373
賞与引当金	34,000	59,962
事業撤退損失引当金	108,507	51,452
その他	322,995	266,753
流動負債合計	1,487,863	1,578,306
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	969,177	1,061,773
退職給付引当金	176,899	170,577
長期預り保証金	76,035	76,535
その他	29,299	25,663
固定負債合計	1,401,412	1,484,550
負債合計	2,889,275	3,062,856

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,836,660	1,836,660
資本剰余金	17,380	17,380
利益剰余金	△370,871	△515,598
自己株式	△4,578	△4,608
株主資本合計	1,478,590	1,333,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,470	△28,157
為替換算調整勘定	△63,178	△77,954
その他の包括利益累計額合計	△71,648	△106,111
少数株主持分	552,316	536,125
純資産合計	1,959,258	1,763,847
負債純資産合計	4,848,534	4,826,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,912,873	2,549,818
売上原価	2,166,440	1,992,978
売上総利益	746,432	556,840
販売費及び一般管理費	565,323	535,062
営業利益	181,109	21,777
営業外収益		
受取利息	1,689	2,205
受取配当金	2,022	4,137
為替差益	—	269
物品売却益	2,610	—
その他	2,503	3,808
営業外収益合計	8,826	10,421
営業外費用		
支払利息	14,491	16,479
シンジケートローン手数料	2,000	3,000
為替差損	3,424	—
その他	4,980	4,324
営業外費用合計	24,897	23,804
経常利益	165,038	8,394
特別利益		
固定資産売却益	6,596	—
投資有価証券売却益	—	1,920
貸倒引当金戻入額	4,138	—
特別利益合計	10,734	1,920
特別損失		
減損損失	—	91,014
災害による損失	—	33,141
固定資産除却損	612	—
投資有価証券評価損	—	84
事業撤退損失引当金繰入額	—	22,750
特別損失合計	612	146,991
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	175,160	△136,676
法人税、住民税及び事業税	45,833	7,862
法人税等調整額	28,945	△350
法人税等合計	74,779	7,511
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	100,381	△144,188
少数株主利益	39,149	538
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,232	△144,726

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	100,381	△144,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,798	△19,686
為替換算調整勘定	△15,231	△31,506
その他の包括利益合計	△12,433	△51,193
四半期包括利益	87,948	△195,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,886	△179,189
少数株主に係る四半期包括利益	31,061	△16,191

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	175,160	△136,676
減価償却費	47,907	47,317
減損損失	—	91,014
投資有価証券評価損益(△は益)	—	84
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,920
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,081	△2,618
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,270	26,680
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△39,170	△3,765
事業撤退損失引当金の増減額(△は減少)	△11,626	△57,054
受取利息及び受取配当金	△3,712	△6,343
支払利息	14,491	16,479
固定資産売却損益(△は益)	△6,596	—
固定資産除却損	612	—
売上債権の増減額(△は増加)	108,979	△36,417
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,897	△43,053
仕入債務の増減額(△は減少)	△128,546	94,531
災害損失	—	33,141
その他	41,243	△58,086
小計	192,033	△36,685
利息及び配当金の受取額	2,299	4,922
利息の支払額	△15,029	△16,948
法人税等の支払額	△40,738	△40,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,564	△88,752
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△60,968	△30,604
有形固定資産の売却による収入	6,596	—
投資有価証券の取得による支出	△19,442	△109,887
投資有価証券の売却による収入	55,867	11,523
貸付けによる支出	△58,815	△18,000
貸付金の回収による収入	22,432	1,050
定期預金の払戻による収入	10,000	—
預り保証金の受入による収入	—	500
預り保証金の返還による支出	△44,349	—
その他	△3,470	△217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,150	△145,635

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,000	54,000
長期借入れによる収入	75,000	287,000
長期借入金の返済による支出	△107,680	△135,691
少数株主への配当金の支払額	△15,249	—
リース債務の返済による支出	△1,056	△3,462
その他	△60	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,047	201,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,910	△3,367
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,542	△35,939
現金及び現金同等物の期首残高	285,289	349,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	271,746	313,604

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計
	産業資材 事業	マット 事業	食品事業	水産事業	不動産 開発事業	その他 事業	
売上高							
外部顧客への売上高	525,759	1,209,691	1,023,993	117,436	18,198	17,792	2,912,873
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	525,759	1,209,691	1,023,993	117,436	18,198	17,792	2,912,873
セグメント利益又は セグメント損失(△)	119	156,777	44,412	△7,602	△10,001	△2,596	181,109

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計
	産業資材 事業	マット 事業	食品事業	水産事業	不動産 開発事業	その他 事業	
売上高							
外部顧客への売上高	520,977	826,013	1,060,523	106,481	19,267	16,555	2,549,818
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	520,977	826,013	1,060,523	106,481	19,267	16,555	2,549,818
セグメント利益又は セグメント損失(△)	12,756	30,351	△22,891	1,886	897	△1,222	21,777

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間の水産事業の資産の金額が145,988千円減少しております、これは、主として台風12号の被災に伴う災害損失の計上及び減損処理による有形固定資産の減少103,039千円、たな卸資産の減少16,306千円等によるものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産事業において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては91,014千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。